



TAKATSU NETWORK

医療法人 社団 亮正会 総合高津中央病院
川崎市高津区溝口1-16-7 TEL 044-822-6121
http://www.takatsuhosp.or.jp

新

高津中央病院だより

(財)日本医療機能評価機構認定病院

2011年◆夏号(2011年8月発行)

Vol.34

季節の写真館 「節電と風鈴」



▲等々力の「風鈴市」
涼しげな音色は
涼風を誘います……

▼節電風景
ご理解ご協力
ありがとうございました



総合高津中央病院 理念・基本方針

理念

医療を通じて地域社会に貢献
します

基本方針

1. 地域の皆様に愛される病院、親切、迅速、奉仕について最善の努力をします
1. たゆみない研鑽と医道の高揚に努め、安全で質の高い開かれた医療の提供をめざします
1. 地域の救急医療に全力で対応します
1. 保健、福祉の全面的な支援を行います

巻頭言

「1号館2階病棟」 運用開始にチャレンジ

病院長 山中 郁男



3月の東日本大震災発生以来、私たちには、計画停電、原発問題、猛暑・豪雨の異常気象と次から次へと誰も経験した事の無い事態が続き、ともすれば、日々の業務が滞らざるを得ない状況が継続しております。

しかし、創立55周年の取組み課題とした『病院機能評価受審に取り組み、チーム医療体制の確立にチャレンジし、医療提供体制の強化を実現する記念の年とする』ことへの挑戦は今こそ一層進めなければならないと思います。

その第一弾として、当院では予てより準備を進めて来た1号館2階病棟の運用を9月1日から開始します。これは、病状の安定した患者様にリハビリや在宅復帰支援などを行う「亜急性期病床」を病棟内

に開設し、併せて安全で安心な入院診療体制を確保するため3階病棟と2階病棟の管理体制を強化することを目指し、関係部署が協力し万全の準備を進めています。

また、創立50周年を迎えた際に実施した「患者満足度調査」を8月に実施させていただきました。入院および外来の患者様から無記名で当院に対するご意見ご希望を伺い、後日、委託した調査機関に結果分析させ病院の質の向上を目指す有効な材料として病院全体で検討し、経営計画・改善策の検討を行う予定です。同時に、病院機能評価受審に向け、全部署での業務見直しの取組みも推進しております。



名前 **御任 明利**

卒業大学 東邦大学

卒業年度 昭和59年度

専門領域 脳神経外科、水頭症、認知症

資格等 日本脳神経外科学会専門医
日本神経内視鏡学会技術認定医

自己紹介

大学在職時より水頭症を専門として臨床、研究もして来ました。現在も突発性正常圧水頭症（歩行障害・認知症・尿失禁）の診断、治療にかかわっております。神経内視鏡を使用し、より低侵襲な治療を目指し、水頭症手術、脳内出血などの治療も行っております。脳神経外科一般、認知症など気兼ねなく御相談・御紹介下されれば幸甚と存じます。宜しくお願ひ致します。物忘れ外来は火曜日午後1時30分より予約外来として行う予定です。



「看護フェスティバル」を開催しました

看護部 丹羽 純子

今年度の看護フェスティバルは、「愛・希望・健康・思いやり」をテーマに、5月22日（日）10時から15時に開催しました。



今回は第20回の節目でしたが、3月11日の東日本大震災を受け、私たちが「何か災害に関して地域の方に提供出来ないか」をみんなで考えた結果、新コーナー「災害時お役立ち情報」を作り、災害時の応急処置、災害時の持ち出し品、エコノミー症候群予防体操などを行いました。更に、『地域の方が災害時に病院に望む事』を記入して頂くコーナーも設置し、貴重な意見を伺うことが出来ました。

また、昨年も好評だった血管年齢測定も150人を超える方が計測に取り組みをされましたが、今年はスムーズな運営が出来ました。

天候にも恵まれ、延べ人数840名という昨年の倍の多数が来院されおかげさまで大盛況であったことに加え、今年4月に就職した若々しいスタッフの笑顔、挨拶が活気に満ちた雰囲気を作り華やいだフェスティバルが実現できたと思います。



「看護体験・職業体験」受け入れを行っています!

看護部総務委員会

本年度は大震災発生の影響もあり受け入れの要請が遅くなった感じですが、平成23年度「1日看護体験・職業体験」を地元の3中学校、1高校から延べ28名の希望者の体験受け入れを8月に実施中です。

8月2日から看護師体験・薬剤師体験を行った中学生のみなさんの終了後の感想です。

- 「実際に看護体験をしてみて、患者さんとのコミュニケーションをしっかり取らなくてはいけないということを学んだ」
- 「普段入れない場所を見学し、特にCT・MRIなどドラマで使われる実物を見ることが出来、うれしかった」
- 「清潔の援助体験で足を洗うことになったが、丁寧にやらないといけないと思っていたが、患者さんから『もっとゴシゴシやって』と言われ、しっかりやるのが患者さんのためになると気づいた」
- 「3日間を通し、看護師、入院病棟、薬剤師など普段見ることのできない病院の裏側を見させてもらい、この人たちがいるからこそ入院している患者さんは、より快適な入院生活を送れるのだと知った」



高津中央インフォメーション

当院の『患者満足度調査』を実施！

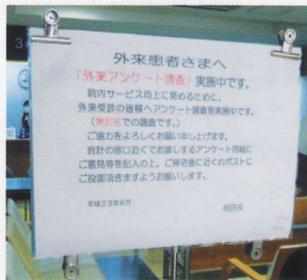
患者様からサービス全般について率直な評価や意見をうかがうため、8月4日より『患者満足度調査』を実施しました。

- 外来の患者さまには職員がアンケート用紙を直接お渡しし、すでに配付終了しました。
- 入院患者さまには退院時に病棟で用紙をお渡し後日投函をお願いしております。

委託した調査機関からの分析結果をもとに改善等に取り組むため行うものです。

本アンケートは創立50周年時以来ですが、今年55周年を迎える当院が今後さらに患者さま、地域の皆様からの信頼にお応えできるための重要な材料として活用させていただきます。

多数の皆様のご協力誠にありがとうございました。



「初期消火訓練」を実施しました

防災対策委員会

本年度の第1回目の初期消火訓練を6月21日に実施しました。

当日は、強い日差しの中、4月入社 of 新人看護師を始め各部署から昨年を上回る延べ127名が参加し真剣に操作訓練を行いました。

大震災の余韻が冷めやらぬ中、参加者全員が本当に真剣な表情で毎年6月・11月の2回、定期開催しています。毎回新入職員の参加は必須ということもあって、今回も各部署から合計113名もの参加を頂きました。



汗を考慮して作られているスポーツドリンク（アクエリアス、ポカリスエット、OS-1など）を摂取するのが合理的でお勧めです。熱中症になり救急車で搬送された患者さんは「水分はちゃんと摂っていたんだけど」とおっしゃる方が多いですが、思っているより、多く水分をとらなければいけなかった場合や、塩分なしで水分だけをとっていた場合もみうけられます。



②また、**室温管理も大切**です。多くの場合は、扇風機、エアコンの使用、こまめな適温管理ということになります。今年は東日本大震災の影響で「節電」が推奨されておりますが、節電したために熱中症になり、命の危険を犯してもいけません。とくに、ご高齢の方は、節電より体調を中心にお考えいただいたほうがよいと思われます。実際、政府、公的機関でもそのように呼びかけているようです。

③さらに、**体温を上げない工夫も必要**です。通気性のよい衣類の着用、保冷剤、氷、冷たいタオルの使用、外出時は日傘、帽子の着用、こまめな休息、日陰の利用など予防する意識が大切です。

④また、**高齢者の方は環境の急な変化への体の順応が比較的困難であり、特に予防に気をつける必要があります**。周囲から積極的に水分、塩分摂取を促さないといけない方も多いので御家族の方、介護者の方はご注意ください。よろしくお願いいたします。

以上の点を注意して、暑い夏を無事に乗り切りましょう!!

P.S. 当院にも在宅診療部門があります。通院が困難でお困りの方などご相談いただければと存じます。

「熱中症を防ぐために」

在宅診療部 遠藤 済 (内科部長)

2011年 真夏の猛暑たけなわ
皆様いかがお過ごしでしょうか？

◆「熱中症」にならないためには、まず熱中症をよく理解することが大切です。

熱中症は、高温多湿の環境で 多量の発汗などで、体内の水分、塩分が不足し、体温調節がうまく出来なくなり、体温上昇、だるさの増強、吐き気、筋肉痛、こむらえり（足がつるなど）が見られ、深刻な場合は意識障害が出現、最悪、死亡することがあります。

血液検査時の異常として、低ナトリウム血症（水分、塩分不足）、腎機能障害（尿がつかれない）、CPK上昇（筋肉の障害）などが多くみられます。

炎天下での外での仕事、活動時はもとより、室内でも気温の上昇がみられるときも熱中症は起こります。



◆熱中症の予防には

①まず、**水分補給と塩分補給が大切**です。発汗で水分はもちろんのこと 塩分も失われます。水だけの補給では血液中の塩分濃度（ナトリウムなど）が低下し（薄まり）、バランスをこわし、体調不良の原因になります。そのため塩分の補給も必要なのです。発

* 糖尿病教室について *

糖尿病教室開催チーム (安田美恵子)

平成23年度第2回糖尿病教室が、9月に開催されます。

なお、第1回の糖尿病教室は7月に開催され、糖尿病の治療について最新情報をお届けすると共に、運動療法の実演はとても充実した内容になりました。暑期中39名の方が参加してくださいました。

今回は“食事療法を美味しく！楽しく！”をテーマにワンコインランチ (食事会) を企画しています。なお、『ワンコインランチ』は会場・時間帯が異なりますのでご注意ください。



(3号館3階講義室で12:30~)

◇ 9月3日(土) 14:00~15:30
「糖尿病とは・治療と合併症」

◇ 9月10日(土) 14:00~15:30
「日常生活について・お薬について」

◇ 9月17日(土) 12:30~13:30
「ワンコインランチ (食事会)」

予約制・
参加費500円

◇ 9月24日(土) 14:00~15:30
「検査について・運動について」

虹が丘リハビリケアセンター長に就任しました

虹が丘リハビリケアセンター
センター長 和田 英理



12年間センター長として虹が丘リハビリケアセンターに貢献された鈴木卓朗先生の後を受けて、この5月からセンター長を拝命することになりました。

私は、日本医科大学を昭和50年に卒業し、消化器外科医局に入局後大学院を修了し各地の派遣病院を回り、大学附属病院での最後を虹が丘に近い付属多摩永山病院救命救急センターで、この間に防衛医科大学の第二外科へ肺血管外科の臨床研修のため出向させていただいたのを含め約10年間在籍させていただきました。

その後、ご縁要請があって横浜市鶴見区で開業医の経験もさせていただきました。開業医としては、最前線としての気概のなかにもアットホームなクリニックとして地域医療に専念しておりました。急ではありましたが、今年の4月には後任の医師にうまくバトンタッチすることが出来、当センターに赴任してまいりました。

ますます高齢化社会が進む中でこのセンターに期待される役割も大きいかと微力ながら開業医としてお年寄り世も多く接してまいりました経験も活かし、より充実したものにしてまいりたいと思っております。

スタッフの皆様のなお一層のご協力をお願い致します。

個人情報 保護方針

情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。

総合高津中央病院では、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

① 個人情報の収集・利用・提供

個人情報の保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集、利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

② 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

③ 個人情報に関する法令・規範の遵守

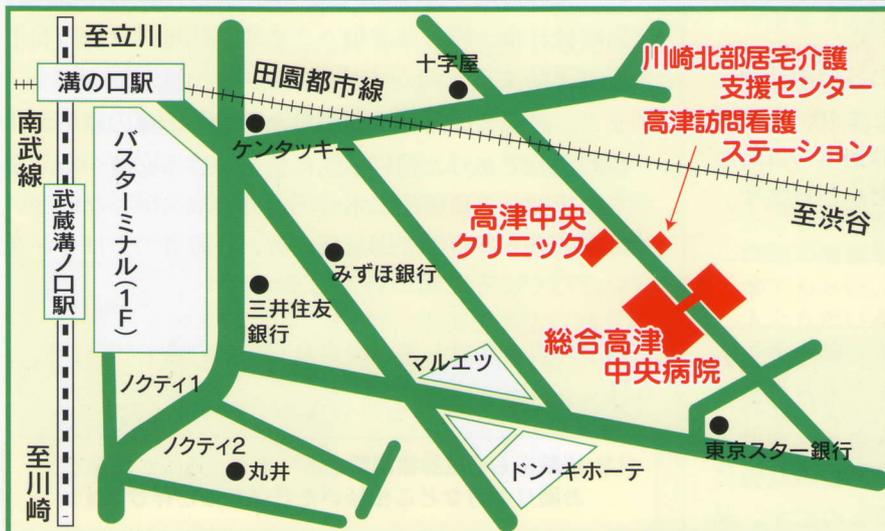
個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

④ 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

⑤ 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。



▶ 総合高津中央病院

川崎市高津区溝口1-16-7
TEL (044) 822-6121 (代)
<http://www.takatsuhosp.or.jp>

▶ 高津中央クリニック (健診)

川崎市高津区溝口1-16-3
TEL (044) 822-1278 (代)
<http://www.takatsuhosp.or.jp/clinic/>

▶ 川崎北部居宅介護支援センター

川崎市高津区溝口1-17-5
TEL (044) 822-6159 (代)

▶ 高津訪問看護ステーション

川崎市高津区溝口1-17-1
TEL (044) 822-1287 (代)